

福井洞窟特別史跡指定記念イベント CAVE フェスー洞窟であそぶ・まなぶー

2月1日(土)、福井洞窟が国の特別史跡に指定されたことを記念し、福井洞窟ミュージアムでCAVE フェスを開催しました。火おこしや石器づくり、弓矢などの体験会では、子どもたちが実際に体感することで、旧石器時代の生活の楽しさや難しさについて学びを深めていました。

記念講演会では、佐世保市出身の横尾初喜監督が制作したショートフィルム「ふくいどうくつかゾク」を初上映。上映後、続編の制作が発表されると会場は拍手で包まれました。また、佐藤宏之東京大学名誉教授による講演やパネルディスカッションなど、多くの来場者が福井洞窟の魅力に触れた1日となりました。



1 発掘体験をする子どもたち 2 石器づくりの説明を聞く子どもたち 3 石器で魚の三枚おろしに挑戦する親子 4 火おこしを体験する子どもたち 5 弓矢を体験する子どもたち 6 東京大学名誉教授による講演 7 和太鼓の演奏を披露する五蔵太鼓社中(吉井町) 8 講演を聞く皆さん

文化財課 ☎ 24-1111

長崎県指定無形民俗文化財 佐世保のヤモード祭り

1月26日(日)、五穀豊穡と家内安全を祈願する「佐世保のヤモード祭り」が松原町の淀姫神社で行われました。冬の間に山に戻っていた田の神を里に迎えるための行事で、矢峰町と松原町から選ばれた青年がヤモード(山人)となって一連の行事をつかさどります。祭りの山場は、鳥居に架かる長さ約8m、重さ約300kgの大注連縄の架け換えです。地域の人が見守る中、大注連縄が鳥居に架け渡された後、神官によるおはらいや、神社内で平戸神楽の奉納などが行われ祭りは締めくくられました。



1 池で体を清めるヤモード 2 大注連縄を作る皆さん 3 大注連縄の架け替え 4 ヤモード祭りを締めくくる餅まき

ヤモード祭りを動画でプラス



YouTube「佐世保市チャンネル」
広報させぽプラス

文化財課 ☎ 24-1111

令和7年 佐世保市成人式典

1月12日(日)、本市はハウステンボス歌劇大劇場で「令和7年佐世保市成人式典」を開催し、20歳を迎える皆さんの門出を祝福しました。同年代の検討委員6人が式典の企画・運営を行い、新成人1,831人が参加しました。

二十歳の決意では、二十歳を代表して拝崎美夢さんと菊地真光さんが登壇。拝崎さんは「これからは誰かを支え、手を差し伸べられるような存在になりたい」、菊地さんは「社会基盤を整え、快適な暮らしを支える仕事に取り組みたい」とそれぞれ抱負を述べました。



1 2 ハウステンボス歌劇大劇場内の成人式典の様子 3 4 5 園内を楽しむ成人の皆さん

社会教育課 ☎ 24-1111